



ボランティアによる雅楽演奏

10月14日 小児病棟

和



第22号 (平成23年 秋号)

編集：大阪市立総合医療センター 広報小委員会
(〒534-0021 大阪市都島区都島本通 2-13-22)

<http://www.city.osaka.lg.jp/contents/wdu270/ocgh/>

大阪市立総合医療センター

3Hの理念

Heart For Public Service

広く市民に信頼され、地域に貢献する公的病院をめざす。

Humane

人間味あふれる暖かな医療を実践する病院をめざす。

High-Technology

高度な専門医療を提供し、優れた医療人を育成する病院をめざす。

～ 掲載内容 ～

- コメディカルのお仕事紹介「作業療法士」
- 疾患解説シリーズ
「CKDってご存知ですか？」
- がん診療について
「新たな乳がん術式への取り組み」
「当センターが取り扱うがんの種類」
- 総合医療相談窓口

■ コメディカルのお仕事紹介「作業療法士」

作業療法士は、リハビリテーション医療職の一員です。リハビリテーションとは障がいのある方々が、住みなれた地域で、そこに住む人々と共に生き生きと豊かに生活することを援助する、医療・保健・福祉の総合的な支援体系をいいます。

作業療法士は、昭和40年に「理学療法士及び作業療法士法」という法律で定められた国家資格を持つ専門職です。昭和60年に日本作業療法士協会により作業療法とは「心身または精神に障がいのある者、またはそれが予測される者に対してその主体的な生活の獲得を図るため、諸機能の回復・維持および開発を促す作業活動を用いて行う治療・訓練、指導および援助をいう」と定義されています。

作業療法の領域は多岐にわたりますが、大阪市立総合医療センターの作業療法では、主に入院患者さんを対象に実施しており、発症後間もない時期である急性期の身体障がい領域に対して治療・訓練を行っています。主に基本能力（運動機能）や応用能力（生活に必要な動作）の回復を目的としたリハビリテーションを提供しています。



当センターでの作業療法室風景

■ 疾患解説シリーズ

CKD（慢性腎臓病）ってご存知ですか？

大阪市立総合医療センター 腎センター部長 今西 政仁

腎臓の働きが慢性的に低下していく病気を、CKD (Chronic Kidney Disease), 日本語では「慢性腎臓病」と言います。一般の人には少し馴染みが薄いかも知れませんが、今世界中で、その病気を“防ごう、進行を抑えよう”という運動が起こっています。特に、毎年3月の第2木曜日が、“世界腎臓デー(World Kidney Day)”と定められ、2011年は3月10日で、日本でも活発な啓蒙活動が行われました。

CKDは、慢性腎炎など腎臓の病気はもちろん、糖尿病や高血圧、高脂血症(高コレステロール血症)、メタボリックシンドロームなど生活習慣病からも起こる病気です。放置したり治療が不完全であると、腎臓が死んでしまって透析療法を受けなければならず、その透析療法を受ける人が日本では2011年末に30万人を超えそうです。さらに、もっと恐ろしいことに、CKDは脳卒中や心臓病を引き起こす大きな要因にもなると言われています。(図1)

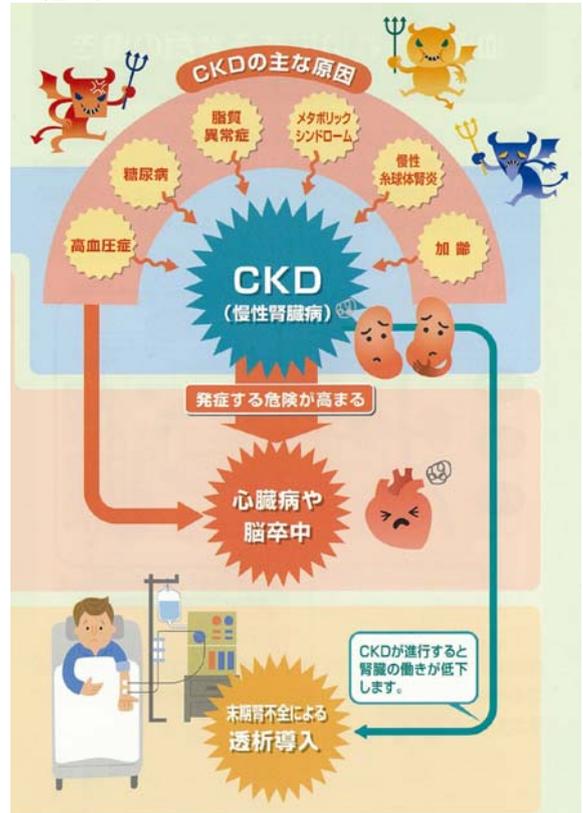
腎臓の働きが落ちるとなぜ脳卒中や心臓病が起こりやすくなるのか不思議に思われるかも知れませんが、腎臓の血管や脳の血管には解剖学的にも生理学的にも共通した特徴があり、互いの病気の繋がりが明らかにされています。

腎臓は、図2のように「糸球体」という“血液の濾過装置”と「尿細管」という“尿の調節装置”からなるネフロン(腎単位)が約100万個集まってできており、言わばその1つ1つが小さな腎臓として働く集合体なのです。そして、糖尿病や高血圧になったりコレステロールが増えたりすると、そのネフロンに大きな負担がかかり1つ1つ潰れていくのです。しかし、やっかいなことに、ネフロンが潰れて数が減り腎臓の働きが落ちてても症状はほとんど無く、症状が出たときはすでに遅く、透析を覚悟しなければならないこともあります。

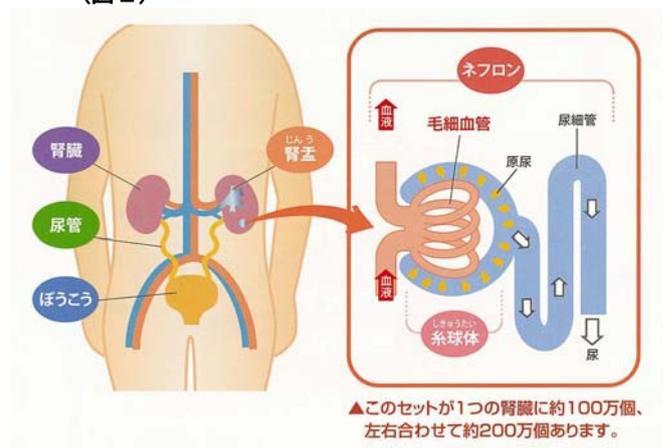
では、早くCKDすなわち腎臓の異常を見つけるにはどうすれば良いのでしょうか。

普段から、“健康診断”か“かかりつけ医”で定期的に尿検査を受けたり、家庭血圧を測定したりすることが大切です。これで案外早く発見することができます。CKDがさらに進行すると、夜間何度もトイレに行ったり、手足や顔にむくみが出たり、倦怠感や立ちくらみ・息切れなどが起こったりしますので、そのようなときは早めに“かかりつけ医”の受診をお勧めします。

(図1)



(図2)



■ がんの診療について

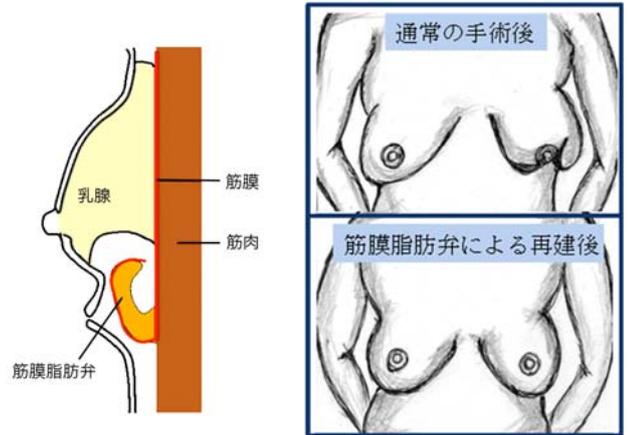
新たな乳がん術式への取り組み

大阪市立総合医療センター 乳腺外科副部長 池田 克実

➤ 乳房温存術に対する筋膜脂肪弁の利用

乳がんの手術は、乳房温存療法が主体（当科でも6-7割）となりますが、腫瘍の場所によっては術後の整容性（術後の見た目）が悪くなってしまうことがあります。特に、乳房の下部（乳頭・乳輪より下）にできた乳がんでは、病変を切除したあとの欠損を残りの乳腺で埋めることが困難で、一般に他の部位に比べて整容性はよくありません。2009年より当科では、乳房下部の乳がんに対して病巣を切除した欠損部に腹部の脂肪と筋膜を充てんして整容性を高める手術を導入いたしました（図1 筋膜脂肪弁による再建）。

(図1)

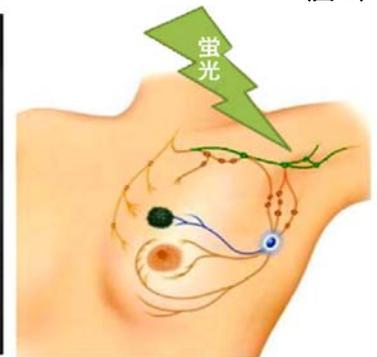


➤ 上肢リンパ浮腫軽減を試みる臨床試験（ARM：Axillary Reverse Mapping）

乳がん手術の後遺症として、最も患者さんの生活に負担を強いるのは、乳がんが転移しやすい腋のリンパ節を取り去ること（リンパ節郭清といいます）に伴うリンパ浮腫ですが、当科のアンケート調査では、腋のリンパ節郭清をされた方の約1割に治療を要するリンパ浮腫を認め、また約4割の方に手術した側の腕の痛み、しびれ、違和感などの症状が出現しております。リンパ浮腫を回避するために、近年は、手術中に腋のリンパ節の一部を調べる検査（センチネルリンパ節生検）を行って、転移がない場合には、リンパ節郭清を省略す

(図2)

ることが標準治療となりました。これにより、リンパ浮腫を回避できる可能性が高くなりました。しかしながら、腋のリンパ節に転移があり、リンパ節郭清をせざるを得ない方はリンパ浮腫になるリスクがあります。2009年12月より色素蛍光法を用いて上肢からの



リンパ管、リンパ節を確認しながらリンパ節郭清を行う臨床試験（ARM試験）を開始し、リンパ浮腫を軽減できる手術法の開発（蛍光を発しているところを残して他のリンパ管・リンパ節を切除する）を目指し、今後実際の臨床で行えるか否かの可能性を検討しております（図2 術中のARM試験の様子。蛍光を発する上肢からのリンパ管、リンパ節が描出される）。

当センターが取り扱うがんの種類

肺がん・縦隔腫瘍／乳がん・乳腺腫瘍／胃がん・胃腫瘍／大腸がん・大腸腫瘍／食道がん／肝がん・肝腫瘍／胆嚢がん・胆管がん／膵がん・膵腫瘍／前立腺がん／膀胱がん／腎がん／尿路がん／精巣がん／血液腫瘍（白血病、リンパ腫など）／子宮がん／卵巣がん／脳腫瘍／骨軟部腫瘍／頭頸部腫瘍／小児がん／皮膚腫瘍／原発不明がん／性腺外胚細胞腫瘍／眼腫瘍

心配なこと・気がかりなことは**総合医療相談窓口**へ

7月末に、外来患者さんに行いました「アンケート」によりますと、がんについてや病気に対する日常生活での注意事項などについて相談したいというご意見が多数見られました。

現在、総合医療センターでは、医療、福祉、看護についての総合医療相談窓口を設置し、認定看護師による専門的な相談にも応じています。

認定看護師

(相談には予約が必要ですが、まずは外来看護師に相談してください)

がん性疼痛看護 (金曜日 午前)

がんの痛みがあり、痛み止めの使い方・薬の副作用、日常生活の不安等について



藤井

緩和ケア (火曜日・木曜日 午前)

がんの患者さんの息苦しさ・だるさ、またご本人・ご家族が抱えている不安や悩みについて



佐藤



文本

がん化学療法 (金曜日 午後)

抗がん剤治療予定の方・治療中の方の、抗がん剤の副作用等への不安や困っていることについて



山西

皮膚排泄ケア (火曜日 午前・午後)

ストーマ装具の相談、皮膚のただれ、日常生活での悩み・不安等について



平松



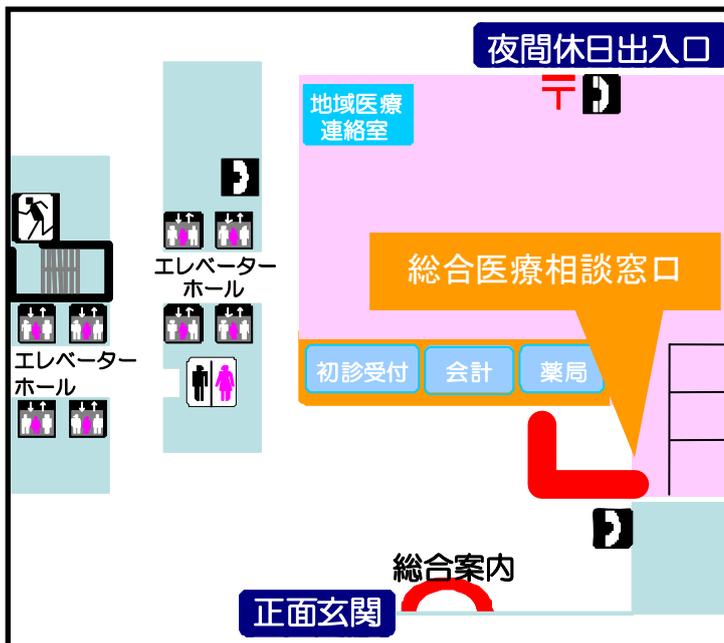
本田

糖尿病看護 (月曜日～水曜日)

糖尿病の薬、食事、運動、足のケア、日常生活等について



熊野



がん相談支援センター

がん相談員が、がんに関する一般的な情報を提供し、療養上の相談をお受けします。



その他看護相談

その他の看護に関することも、随時相談をお受けしています。